

演題

# 川の幸・山の幸 川口が生んだ 民俗学者 櫻井徳太郎

櫻井先生は大正6年(1917)、今の新潟県長岡市川口和南津に生まれました。東京の大学では歴史学を学びましたが、民俗学という学問を作った柳田國男という人が書いた本を読んで、普通の人びとの生活から考える民俗学という学問に関心を持ちました。

民俗学は、文字ではなく、口で伝えられてきたことや習慣・ならわしとして伝えられてきたことを調べて、昔のことを知ろうとする学問です。たとえば、人びとの毎日のくらしや、毎年決まった季節に行うお祭り、結婚式やお葬式の様子、古くから語りつがれてきた昔ばなしや伝説などです。川と山の幸に恵まれた川口。その中で育てられた櫻井先生の学問とは何だったのでしょうか。それを探ってみましょう。

講師

たかはし みのる  
高橋 実 氏

小国文化フォーラム事務局長

プロフィール

昭和15年新潟県刈羽郡小国町生まれ。新潟大学教育学部卒業。卒業論文『北越雪譜の研究』。北越雪譜を卒業論文に選んだ主人公を描いた「雪残る村」が第52回芥川賞候補となる。平成13年に38年間の教職を定年退職し、その後新潟県立女子短期大学非常勤講師、新潟県民俗学会常任理事などを歴任。現在は「小国文化フォーラム」事務局長、長岡民話の会顧問、全国木喰研究会事務局長など要職を務める。

日時 平成30年10月20日(土曜日)  
午後1時30分～午後3時  
(開場 午後1時)

会場 川口公民館 1階 研修室  
長岡市東川口 1979-130  
電話 0258-89-3120

定員 先着70名 参加費 無料

申込方法 聴講を希望される方は、電話でお申し込み  
ください 川口支所地域振興課 電話 0258-89-3111

主催 長岡開府400年記念事業実行委員会、長岡市

お問合せ 〒949-7592 長岡市東川口 1974 番地 26 長岡市川口支所 地域振興課 教育支援係  
電話 0258-89-3111 ファックス 0258-89-2110

長岡開府400年公式ウェブサイト <http://www.nagaoka400.jp/>

長岡開府400年

検索